

令和元年度 6月補正予算

※1万円単位で端数処理しています。

一般会計補正予算額 5億946万円 (補正後予算額305億6,086万円)

(歳入)

○分担金及び負担金	188万円
○国庫支出金	2億5,076万円
○県支出金	924万円
○繰越金	2,950万円
○諸収入	1,188万円
○市債	2億620万円

(歳出)

○総務費	11万円
○民生費	4,544万円
○衛生費	2,628万円
○農林水産業費	1,525万円
○商工費	8,000万円
○教育費	3億4,238万円

主な内容

・歳入

【分担金及び負担金】 用排水施設工事負担金	188万円
【国庫支出金】 介護保険料軽減費負担金	1,848万円
感染症予防事業費等国庫負担金	939万円
母子家庭等対策費補助金	165万円
プレミアム付商品券事業費補助金	8,000万円
学校施設環境改善交付金	1億4,124万円
【県支出金】 介護保険料軽減費負担金	924万円
【繰越金】 前年度繰越金	2,950万円
【諸収入】 土地改良施設維持管理適正化事業交付金	1,188万円
【市債】 豊田保育所便所改修事業	500万円
学校給食センター再整備等事業	2億120万円

・歳出

【総務費】 文書管理事務運営費	11万円
【民生費】 介護保険事業特別会計繰出金	3,697万円
ひとり親家庭福祉事業	220万円
公立保育所維持管理費	627万円
【衛生費】 一般事務費(健康管理課)	95万円
予防接種事業	2,533万円
【農林水産業費】 用排水施設維持管理費	1,525万円
【商工費】 プレミアム付商品券事業	8,000万円
【教育費】 共同調理場建設事業	3億4,238万円

お問い合わせは、財政課 (4階) ☎(20)1517、FAX(20)1603へ。

市長が行く

将来を見据えた財政改革

No.110

茂原市長 田中豊彦



先日新聞に、船橋市の財政改革の記事が掲載されています。私は、「何？船橋市が財政改革？」と驚きましたが、読んで納得する気持ちになりました。

船橋市は、財政上国から示

されている4つの指標では県内でも最上位に位置し、実質公債費比率はマイナス0.1%で財政調整基金も約15

5億円以上あり、県内ではトップクラスの優良中核都市です。しかし、その記事の中では、歳入の柱となる市税収入は今後10年変わらず推移するが、今のままの更新作業や扶助費を続けていると、財政調整基金から年間30億〜50億の繰り入れが必要で、現状のままだと4年から5年の間に財政調整基金は枯渇してしまうというものでした。そのため、体力のあるうちに再度財政計画を見直し、事業仕分けをし、扶助費の増額にはそれ

相応の市民の負担の増額を検討していくと記事にはありました。優良都市と思われた船橋市でも、先を見越した財政改革の手を打ち出したのかとあらためて警鐘を鳴らされた思いがします。

この船橋市の例を見ても、税収を考慮したうえでの先を見据えた財政運営がいかに大切かということをあらためて感じます。茂原市でも、その時々々の事情はあったにせよ、もう少し何らかの手を打っておいでいてくれたら、現在のような巨額の債務を抱えずに済んだのではないかと恨めしく思うこともあります。

茂原市では、私が市長に就任してからのこの10年間、ただただ財政の健全化を最大の目標として、その中で将来を見据えた諸課題を「選択と集中」で対処してきました。一方において、巨額778億円の債務の返済をしながらでし

たので、市民の要望になかなか応えられないことも多々あったと思います。それでもいまだに577億円もの債務を抱えている現在、市民会館や広域での諸問題をクリアできるのかということは、これは非常に大きな悩みどころです。

景気動向が厳しさを増す中で、高齢化はますます進み、扶助費はさらに増大していきます。そうした中で今回の記事は、茂原市のみならず多くの自治体において、今以上に厳しく事業検証をしていかなければいけない時期にきているのだということであらためて思われるものでした。

これは、市民の皆さん一人ひとりに考えていただきたい問題であり、理解していただき、協力していただかなくてはならない事柄であると思っています。